



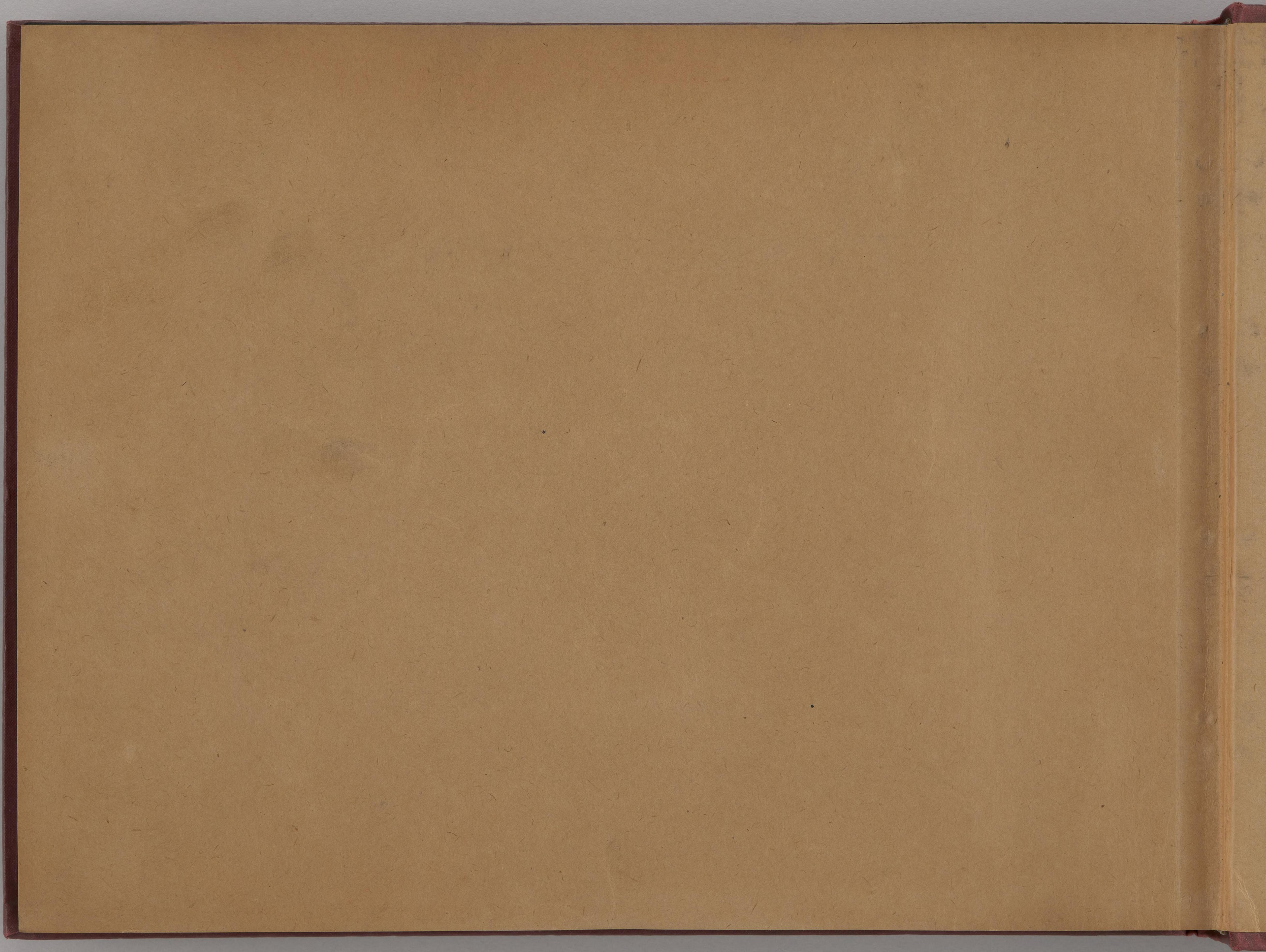
1201100595391



禁電子式複写











新聞聯合 寫真ニュース 第四號

◎高橋藏相農民道場視察

(東京) 十年六月一日

高橋藏相は一日午後一時赤坂表町の私邸を出
發豊田參與官、久保秘書官等を帶同埼玉縣與
野町の農民道場を視察した

寫眞は

一、農園視察の藏相



◎日支兩大使祝賀會

(東京) 十年六月一日

日支兩國の大使館昇格を祝福して兩國の親善を目的とする日華俱樂部(會長坂西利八郎氏)では一日正午から日比谷山水樓に兩國新大使有吉明、蔣作賓兩氏を主賓とする祝賀會を開催、主賓側より顧問町田經宇大將以下會員約五十名出席、在留中華民國名士十餘名を陪賓として午餐を圍み兩大使の健康を祝し今後一層の日支親善を希望しつゝ、歡談した

寫眞は

一、有吉、蔣兩大使



新聞聯合

寫眞ニユース

青
二
日
了

◎射撃に日滿親善

全日本中等射撃競技會二日午前九時半から大久保射撃場で舉行された。この日特に日滿スポーツ親善のため滿洲國丁公使・曹少將・陶中佐等が來會又日本側も奈良大將を始め文相陸軍關係の高官多數出席會式を行ひ後明大射撃部古式砲術研究會の三百年前から我國に傳へられてゐる日本古式砲術各流派火繩銃實演・競技等が術はれ午後二時過ぎ散會した寫眞は

日本古式砲術演練



◎日本の紫外線に暫しのお別れ

一有吉大使の朝！

(東京) 十年六月二日

二日の朝は東京での最後の安息日だといふので白金三光町の邸で八時過ぎまで寝すごした。緑さわやかな六月の朝日を浴びて街を流れるチンドン屋の雑音を開きながら有吉さんは玄關で鐘愛の蘭に水をやつてゐた。

なに對支工作？君今日は日曜だよ……

と最近對齒工作完了したニコチン途の齒並で笑ふ

日本のお天気も當分は浴びられんから何處かドライブでもしようといふのでね

上海歸任の國內準備をすつかりすませた心安さの思ひ入れた、十時にはセイ子夫人、長男正君と並んで日本の紫外線を浴びに飛出して行つた

寫眞は

一、有吉大使



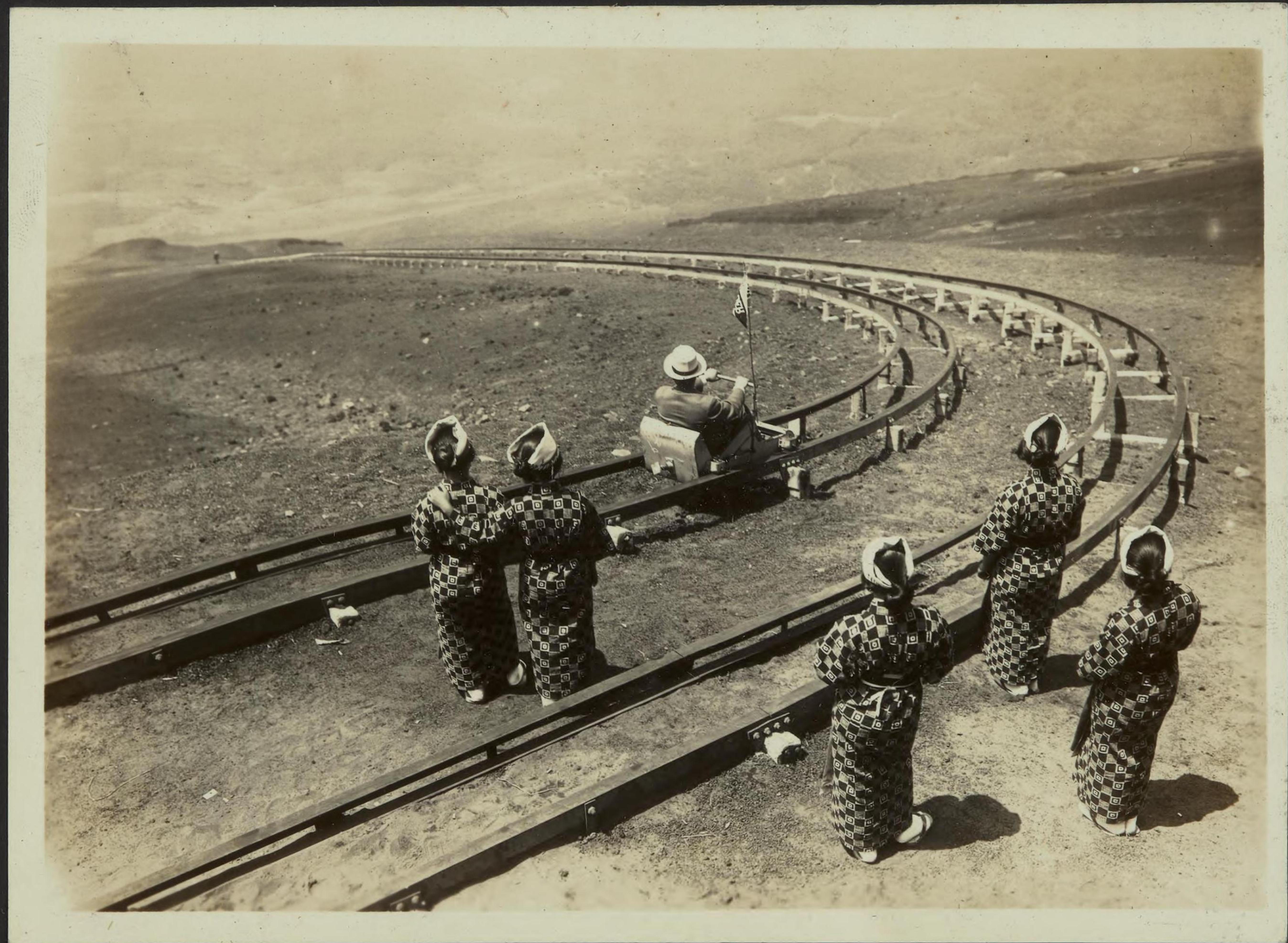
◎初夏の大島

(東京) 十年六月三日

初夏の大島は詩と共に明けて都塵を避くる憧憬の都人士がワンサと押かける、しかも凡そ詩と遠い潰走機(スライダー)が外輪山頂の一角から山麓に出来て更に大島の名物を殖した、長さ一千米、二十度の傾斜を以て西南方に下る、時速三十五哩、約三分で一攀に降下すると云ふ

寫眞は

一、三塚山のスライダー



◎ パパ、ママ教授の

|| 英語幼稚園バンド

(東京) 十年六月三日

麹町の高田女塾附屬幼稚園ではパパ、ママ反
對論一覽の形で幼をい子達は皆何から何まで
英語でナ、廻らぬ口でこれは意外流暢なイン
グリッシュが囀び出るのでから大したもの
す、それにこれ等滑稽たる子達は音楽教授を
も受けてゐるまして將に玩具の國のバンドをも
持つてゐます、「ドラム」
「タムバリン」
「トライアングル」
「 ترامペット」
夫々相當
には、笑ましくやつてゐるのです

寫眞は
一玩具の國のバンド



◎有吉初代大使歸任

(東京) 十年六月四日

初代駐支大使明吉明氏は神戸迄見送りの夫人同伴四日午前九時東京驛發特急燕號にて西下上海へ歸任の途に上つたが、驛頭には廣田外相、兒玉拓相、重光次官、蔣作賓駐日大使、岡村參謀本部第二部長、芳澤元外相、長岡春一大使等官民多數の盛んな見送りあり時節柄極めて嚴重警戒の内に廣田外相の激勵の挨拶あり、第二段對支親善工作を深く胸につゝみ非常な元氣で鹿島立つた

寫眞は

一、(向つて左から)兒玉拓相、廣田外相、有吉大使、蔣大使、芳澤前外相(於東京驛)



◎學務部長會議（第一日）

（東京）十年六月四日

道府縣學務部長會議第一日は四日午前九時か
ら文部省會議室に於て開會、長橋北海道、白
戸東京外各府縣部長、本省側松田文相、添田
三邊兩次官、山樺參與官、河原普通外各局長
並關係官參集、冒頭松田文相訓示を爲したる
後普通學務局所管事項の協議に入り堀池課長
から指示事項並注意事項の説明あり各部長か
ら種々意見の開陳あつて正午一旦休憩午後は
一時から續行した

寫眞は

一、松田文相の訓示



新聞聯合

寫眞ニュース

第一號

◎女ならでは……

職業紹介所前娘の山

(東京) 十年六月五日

中元大賣出しを目前に控へて市内の大デパートから大量の女店員求人申込が殺到、松屋二百廿名、高島屋、伊勢丹百五十名、松坂屋百廿名、三越百名、日木屋、東横など總計九百五十五名の申込み、六日はその受付と云ふので早朝から飯田橋の府職業紹介所は女の子の人の山、係員轉手古舞、女ならではの非常時風景を展開した
寫眞は

一、雲集した娘子軍



◎細い目をなくして御機嫌

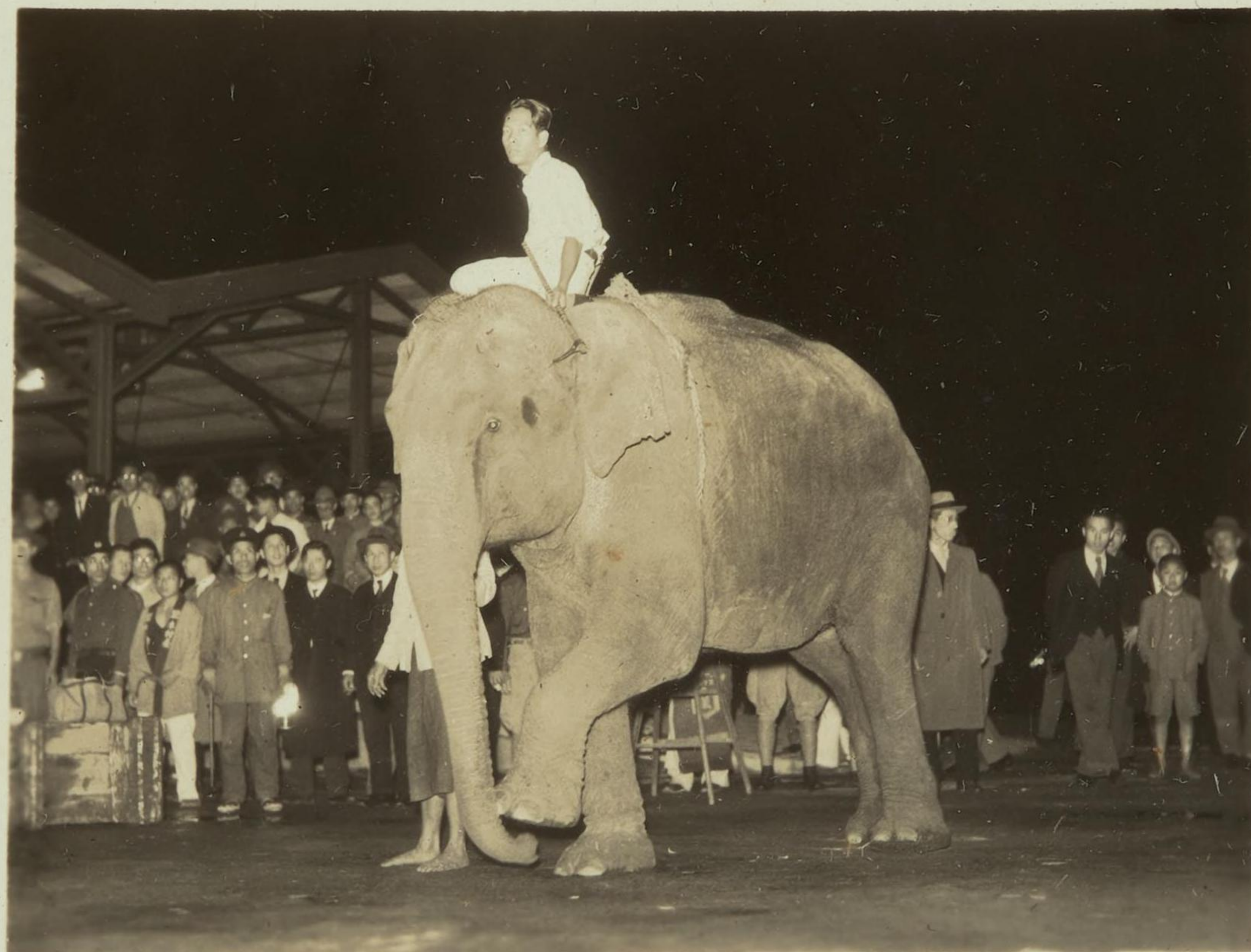
パンジー嬢フアンにお目見得

(東京) 十年六月五日

東京がすつかり御意にかなつたらしいパンジ
嬢上野動物園にまどかな第一夜の夢をむす
びおめ、がさめたらすがすがしい上天氣、同
園廣場に出した象使ひヴィトイル・ノツバク
ラー君の命令一下、足をあげたり、すわつた
り、ころりとねころんだりうまいものだ、マ
アンの拍手に細い目がなくなつてしまふ様な
御機嫌だ、お子さん連れの暹羅公使、古賀園
長も大喜び、遠足に來た幼稚園、小學生の嬉
しがる事、
「どなたかお乗りになる方は
ありませんか」つかつか進んだ六ツ位の方も、
やん象にまたがつて萬々歳、象君初御目見得
得意の巻

寫眞は

- 一、夜の街を動物園へ
- 二、初お目見得のパンジー嬢



新聞聯合 寫眞ニュース 第二號

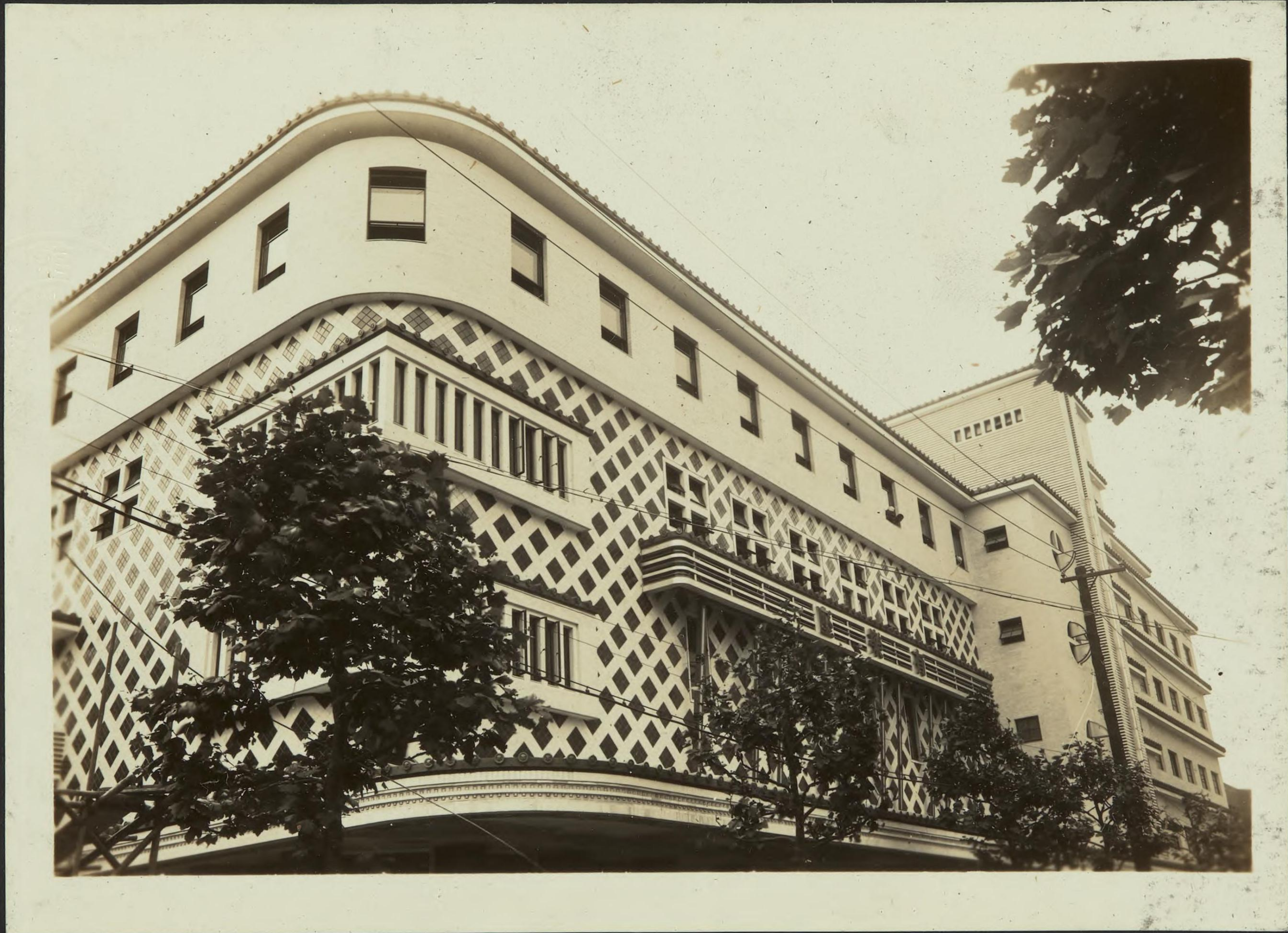
◎大江戶情緒豊かに

新装の有樂座成る

(東京) 十年六月六日

丸の内興行街、東賣が松竹の牙城に迫る一角の有樂座が七日から開場する、敷地約六萬坪、四層建總建坪千七百三十坪、工費設備費約五十萬圓、客席千七百人、外觀の様式江戸時代の防火建築を近代的に表現した練券とナマコ券で江戸情緒を出してゐる
寫眞は

一、新装の有樂座



新聞聯合寫眞ニュース第三號

◎恒例人形供養

(東京) 十年六月六日

豊島區の帝國小學校では六日午前九時から同校校庭で恒例のお人形供養を催しました。お嬢ちゃん無二の親友たるお人形はお手々やお顔を負傷しますと人形病院へ入院させ手厚い看護で綺麗に回復させて頂けますが全く手當の餘地のないお人形のためにお坊さんを招いで供養するのです

寫眞は

一 お人形の供養



◎初代公使の重任を果して

丁士源氏歸國

(東京) 十年六月七日

滿洲國公使丁士源氏が在任二年の重任を終へて七日午后三時東京驛發歸國した、初代公使として昭和八年五月來朝、盟邦日本との好き協調の下に北鐵讓渡條約の調印、滿洲國皇帝陛下御訪日に際しては駐日公使として特別の有難き御言葉を賜ふ等公使の奮闘は報ひられて駐日公使館も大使館に昇格することになり丁公使も公使館創設の重要任務も完了したので今度歸任することになつたものである、この日公使歸任のことを聞召されて天皇陛下から山縣式武官を差遣はされて高さ尺餘の見事な一對の花瓶が御下賜になつた

寫眞は

一、あなを丁公使



◎集まる女給さん一千八百名

署長さんカフエ街の淨化會議

(東京) 十年六月七日

七日正午から京橋の第一相互ビルへ後から後からと女給さんの行進、ビル内は時ならぬ物言ふ花の満開といふ雑踏を呈した。銀座カフエ街取締りの京橋署木村署長の肝入で同所五階會議室に管下の女給さん一千八百名を招いて衛生風紀に關する講演と懇談會を催したといふわけ、署長が女給に圍まれてぐつと碎けた懇談會に移りサービス改善問題、家庭問題等にも隔意なき意見を交換した

寫眞は

一、木村署長の講演



◎美しいガウンの晴れ姿

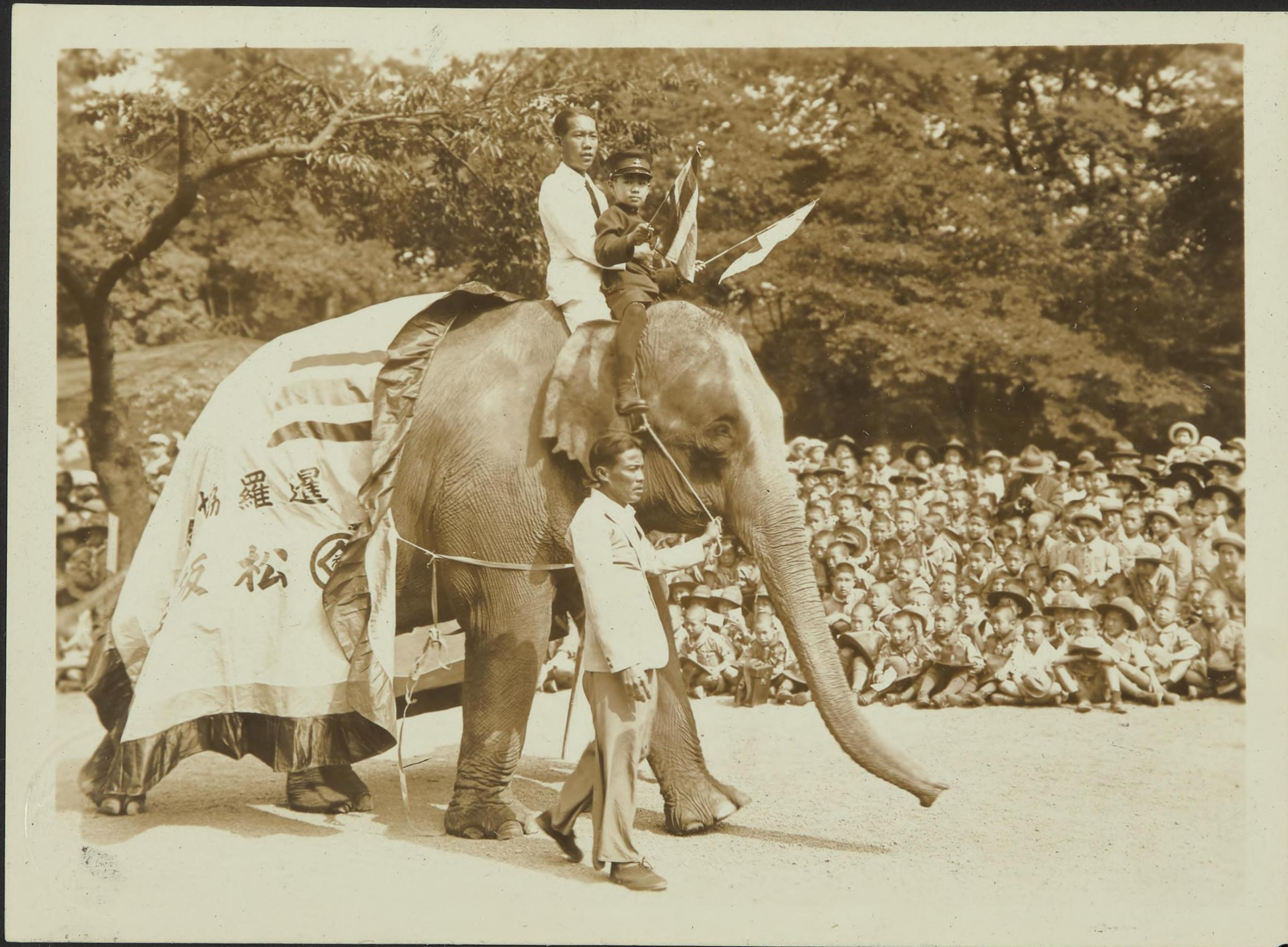
―バンジ嬢の寄贈式―

(東京) 十年六月八日

去る四日夜入京したシヤム少年團から寄贈の大衆バンジ嬢の寄贈式が八日午後二時から上野動物園バンジ嬢のお部屋の前で行はれた。この朝晴れの日を迎へたバンジ嬢入京以来の上機嫌で象使ひを始め動物園のをちさに念入りに化粧して貰ひシヤム協會から寄贈の美しいガウンを着細い目をなくして喜んでゐる。寄贈を受ける側からは牛塚市長以下各局長、矢田シヤム協會理事、少年團日本聯盟の二荒理事長、東京聯合少年團の三島理事長以下約五百名のボーイ・スカウトが参列、寄贈者側としてラクサ暹羅公使が學習院初等科二年在學中の合意ブリタ・ブリナス君(九)を連れて出席した

寫眞は

一、公使ラクサ暹羅公使と
二、バンジ嬢



◎南歐の歌姫ガリ・クルチ入京

(東京) 十年六月八日

豫ねて來朝以來阪神地方に於いて公演の南歐の歌姫ガリ・クルチ女史は八日午后三時廿五分東京驛着で入京した、驛頭には關屋敏子、佐藤千夜子、小唄勝太郎其他の出迎へ例に依つて美しい場面を展開した

寫眞は

一、入京のガリ・クルチ女史(向つて左から)

關屋、ガリ・クルチ、平井英子、勝太郎

佐藤千夜子(横向き)



◎時計の權威河原田博士

一時の記念日の有効化を語る

(東京) 十年六月九日

早大の河原田博士といへば、はゞあテレヴィ
のと誰しも思ふが氏は隠れた時計の蒐集家で
は斯界の權威者、一昨年まで世界第一の大き
さを誇つてゐた上野地下鐵ストアの大時計も
實は氏の設計になつたものである、十日の時
の記念日を前にして九日午後博士を早大理工
科研究室に訪れる

この時計は君古い日本特産の襦時計でね
と好きな道の事として忽ち壁にかゝつた眞鍮の
古色蒼然たる四角い時計の様なものを指さし
て時計漫談を始める

御覽の通り無骨な分銅がぶら下つてゐるし
針が動かさず文字盤が廻るといふ奇妙なも
のですがなかなか精巧ですよ、今持つてゐ
るこの懐中時計は盲人用なのでね、スイツチ
を押すと何時分まで正確に時を打ちます
がこれに例の「巴里の市」で出品した傑作な

寫眞は河原田博士と襦時計



◎早慶水上競技

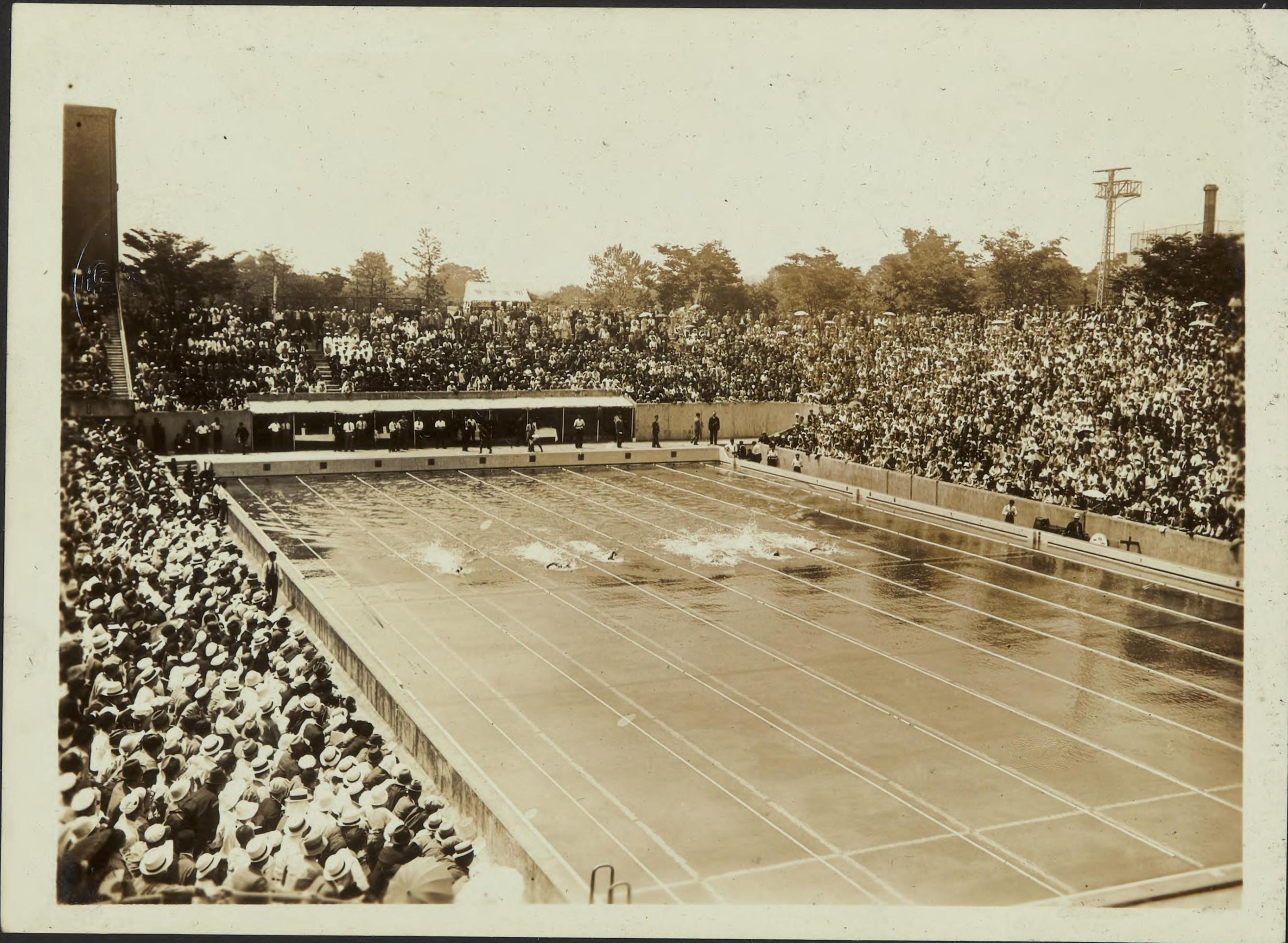
(東京) 十年六月九日

本シリーズ最初のビッグゲーム第九回早慶対校水上競技會は九日午后零時四十五分から神宮プールに開催、定刻兩校選手の入場式、松澤審判長の挨拶あつた後四百米自由形から競技は開始された、コンディションは氣温二十六度、水温二十二度で絶好、隣の野球場で早慶二回戦があるにかゝはらず水泳場も滿員の盛況である

寫眞は

一、百米自由形全景

一、長水路で世界新記録の小池君



◎朝香近衛師團長官

！警視廳を御見學！

（東京）十年六月十日

朝香近衛師團長官殿下は十日副官を隨へさせられ警視廳を御見學あらせられた。光榮に感激した警視廳では午前九時半小栗警視總監、矢野官房主事、各部長全部が正面玄關に御出迎へ申し上げ殿下には三階貴賓室で御休息後總監、官房主事の御案内で先づ刑事部、鑑識課に成らせられ吉川鑑識課長の御説明で約四十分になり鑑識参考品を御感興深く御覽。次いで保安部遺失係に十分、消防部の消防出動演習及び消防機械室に約二十分、特別警備隊の出動演習並びに杖術を約二十分、御覽の後屋上から附近を御展望。更に五階の参考館に約二十分、何れも課長、會長、係長等の御説明を御聽取あらせられたが殿下には帝都治安に任ずる各部組織について種々御下問あり正午過ぎ御歸還遊ばされた。

寫眞は

一、警視廳屋上にて



◎拓務省開設六周年記念

(東京) 十年六月十日

拓務省開設六周年記念に當る十日午後三時か
ら芝區田町の拓相官邸で祝賀會を催した、三
代の拓相を勤めた松田文相、岡田首相、兒玉
拓相を始め各省より參列盛會を極めた
寫眞は

左向つて右より兒玉拓相、岡田首相、松田
文相



新聞聯合 寫眞ニュース 第一號

◎勳一等親授式

一引續き勳二等奉授式一

(東京) 十年六月十一日

天皇陛下には十一日午後一時三十分宮中鳳凰
間に出御、岡田首相下條賞勳局總裁侍立の上
勳章親授式を行はせられ林大審院長に對し勳
章を御親授あらせられ次で首相より勳記を授
け陛下入御遊ばされ引續き同四十分南溜の間
で勳二等奉授式を舉行した

寫眞は

一、陛下の侍大審院長自宅で記念攝影



◎土木部長會議（第一日）

（東京）十年六月十一日

經濟部長會議に次いで全國土木部課長會議は
十一日午前九時半内務省會議室に召集

内務省側 後藤内相、廣瀨土木局長、武井
河川、新居道路、雪澤港灣各課長以下關係
官

地方側 北海道、東京、神奈川、愛知、大
阪、京都、廣島、兵庫、福岡、宮城、長野
新潟各府縣土木部長並爾餘各縣土木課長
出席、後藤内相の訓示の後指示事項及諮問事
項につき協議、正午一旦休憩、午後も續行し

た
寫眞は

一、後藤内相の訓示



新聞聯合 寫眞ニユース 第一號

◎調査局參與勢揃ひ

一岡田首相協力を要望

(東京)十年六月十二日

内閣調査局參與初顔合せは十二日午前十一時より首相官邸大廣間に於て開かれ、酒井忠正伯始め參與三十名全員出席し政府側からは内閣審議會正副會長たる岡田首相、高橋藏相、吉田内調長官、白根輪長、金森法制局長官各省政務次官出席劈頭岡田首相より挨拶を述べ參與の協力を要望した、ついで吉田調査局長官は今後の調査方針について詳述し一旦會議を終り、正午より大食堂に於て午餐會を開催し席上高橋藏相より國策樹立の急務を説き參與の協力援助を求める旨挨拶をなした

寫眞は

一會議場



◎藏相更生美談を蒐集

方面委員を招待して

(東京) 十年六月十二日

全日本方面委員聯盟刊行のパンフレットに「カード階級は他力本願で生きてゐるものではない、自力更生の念の熾烈なる此階級に過ぐるものはあるまい」との文句が高橋藏相の目に觸れ「日本の基調はかうしたものでなければならぬ」との意見で高橋藏相は官邸に岡田首相の來邸を求め十二日午後三時から大久保侯、林市藏氏等が聯盟の仕事の説明し全國の更生美談を陳述した

寫眞は

一、説明の林氏(後方首相、藏相)



◎ハチ公死して皮を殘す

科學博物館で剝製出來上る

(東京) 十年六月十三日

澁谷驛頭歸らぬ主人を待ち暮らす姿に人々の涙をさそつた名犬ハチ公も寄る年波に去る三月八日死亡し、今は驛前の銅像にありし日の姿を偲ばせてゐたが元飼主の上野秀三博士未亡人八重子さんはハチ公を剝製にして上野の科學博物館に寄贈することになり、同館で剝製中のところ十三日、三ヶ月ぶりで見事に完成したので愈々來る十五日午後より同館に陳列して永久に保存し一般の人々の觀覽に供することになつた、それに先立つて十五日午前十時からハチ公に縁りの深かつた上野未亡人吉川澁谷驛長をはじめ日本犬保存協會の齋藤弘氏、ボチ・クラブの會長で人道會委員ノエミ・レイモンド夫人の飼犬ジュールス公らが參集してハチ公の開眼式をやることになつた

寫眞は

一、ハチ公と製作者坂本氏



◎照宮さま市内御見學

(東京)十年六月十三日

女子學習院前期四年御在學中の照宮殿下には
同學年の御學友と共に快晴の十三日市内御見
學の爲午前八時武藏野鐵道の遊覽バスにて
習院御發。乃木神社。泉岳寺。増上寺等に御
參拜。二重橋前にて御學友と共に宮城御遙拜
楠公銅像を御覽。靖國神社。不忍池。上野公
園に成ら^せられ博物館にて御晝餐午後は淺草
雷問前を御通過震災記念堂。築地本願寺。日
枝神社に御參拜午后二時頃學習院に御歸還
らせられた

寫眞は

一上野新飛鳥山にて御展望



◎憂鬱な官僚の卵

「けふから高文試験」

(東京) 十年六月十四日

心と頭の梅雨氣分』『本年度高文試験は十四日の行政を皮切りに司法外交の順で行はれるが十四日午前八時試験場貴族院に集つたもの二千九百餘名、民法憲法で一ハイになつた頭を悲喜交々の裡に傾けて居た、五月廿五日に締切つた志願者は七千百九十五名、内行政科二千九百七十三名、外交科三百三十三名、司法科三千八百八十九名でパスの喜びに浸るものは行政三百名、司法三百名、外交十五名程度とあつては「官僚でなくちや」の御時世とは云へ樂ちや御座んせんわい

寫眞は

一、惱みの高文試験



新聞聯合 寫真ニュース 第四號

◎問題は特權附與に移る

一帝院特別委員會

(東京)十年六月十四日

展覽會開催、不始催で攻防秘術をつくした十
三日の帝國美術院初總會に於いて問題の展覽
會規程を議定すべき特別委員會は十四日午前
九時五分より上野の美術研究所に開會、全
委員十五氏出席、文部省側より添田政務次官
三邊次官、山本參與官、赤間専門學務局長、
石丸學藝課長等が列席、委員長和田英作氏議
長席につき協議に入つた
寫真は

一委員



◎常陸丸遭難の
『鐵道職員の慰靈祭』

(東京) 十年六月十五日 日露戰役當時野戰
鐵道隊に屬し殊にかの常陸丸、佐渡丸遭難で
は一擧百五十名の戰死者を出した「日露戰役
戰没鐵道職員慰靈祭」は常陸丸遭難記念日た
る十五日午前十時から靖國神社に於て執行、
加茂宮司司祭の下に内田鐵相以下各局課長、
遺族十五名、當時の關係職員古川阪次郎翁等
百三名出席内田鐵相、遺族代表、現業員代表
等が夫々玉串を捧げて拜禮、地下の英靈を慰
め十一時祭典を閉ぢた
寫眞は一、常陸丸殉難祭



◎鶴見總持寺貫首

「伊藤道海師入山式」

（東京）十年六月十五日

曹洞宗大本山鶴見總持寺貫首となつた前小田原最乗寺伊藤道海師は十五日午前六時最乗寺發法式に依つて列を練り道了電車にて小田原經由同九時三十八分鶴見着京濱講中其他多數の出迎へを受けて大天狗、小天狗、法螺貝等の行列も賑やかに入山、紫雲臺にて各重役と相見の拜を行つた上午前十一時上京宮内省に向ひ歸山の上下一時より同寺で各宗住職講中等一千名が參集盛大な入山式を舉行した

寫眞は 一人山式



◎日本精神を象徴した

素晴らしい構想を考へてゐるよ

「鉦鼓洞」は静寂そのものだ

(東京) 十年六月十六日

日曜の行樂に賑ふ池の端の騒音にひき較べて
道路一ツ距てて時代離れした吊行燈に仕切爐
の滋味がかつた調度に飾られた「鉦鼓洞」は
静寂そのものだった

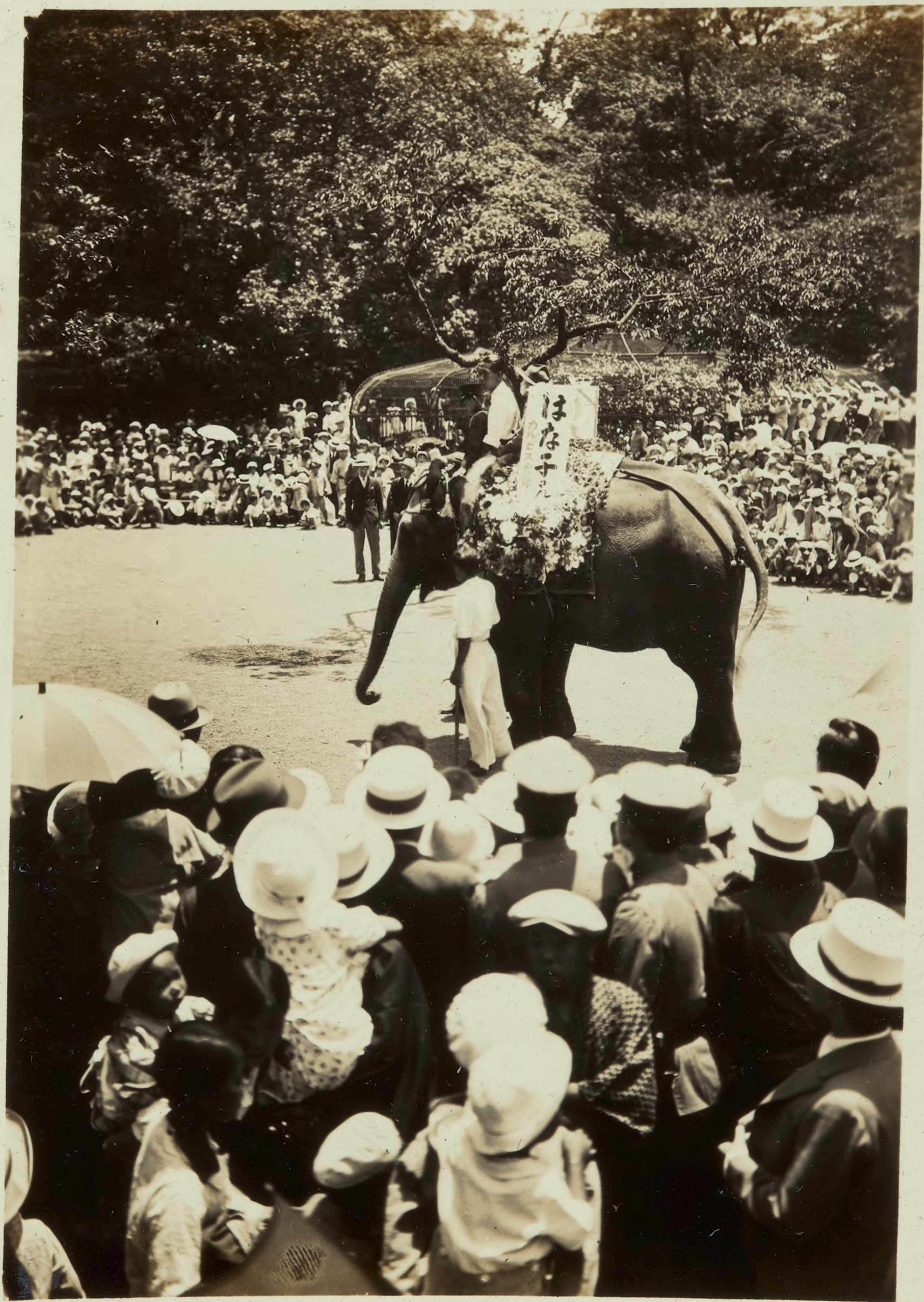
◇

横山大觀氏はこの三三日騒動をケロリと忘れ
た様に築山を背負つた小池の中に揺ぐ花菖蒲
の影にポツカリと泡のやうに浮ぶ夏雲の姿を
凝視めてゐた。傍で久し振りに寛いだ主人の
愛撫に飢えたテリア種の愛犬がヒステリック
に吠え立ててゐる。これお前まで。お前まで
も喚くのかい。困つた奴だ。眉に八ノ字をよ
せて。大觀氏はソツと犬の手を握るのだった
(寫眞は横山大觀氏) 自宅で



◎日本名ははな子さん
『バンヂイ嬢の命名式』

(東京) 十年六月十六日 上野動物園の人気者になつてゐるシヤム國少年團寄贈のバンヂイ嬢象の日本名の命名式は東京市及び少年團日本聯盟、シヤム協會の主催の下に十六日午前十時から動物園内南高臺六角堂前の式場で盛大に行はれたが式は井下公園課長の開會の辭について宮川保健局長、古賀園長は懸賞に當選した象の日本名(はな子)を參列者の拍手裡に命名しシヤム國公使令息並に少年團聯盟代表の祝辭の後井下公園課長は象を日本まで運んで來たバタゴヤ丸の山田船長に對し感謝狀と記念品を贈呈し次で象使ひの紹介をなし終つて商船學校教授須川邦彦氏、岸邊福雄氏の象に關する面白い講話があつた
(寫眞は命名花環をつけて、大喜びのバンヂイ嬢)



新聞聯合 寫真ニユース 第二號

◎外山部隊長參内拜謁

(東京) 十年六月十七日

交代部隊として滿洲へ派遣される外山部隊は
近く出發任地に赴くので幕僚を隨へ十七日午
前七時東京驛著入京直に九段偕行社に入り御
暇乞言上の爲午后一時三十分參内、天皇陛下
に拜謁仰付られ種々奏上有難き御言葉を拜し
し御前を退下の後參謀本部に到り閑院參謀總
長宮殿下に謁を賜はり更に林陸相と會見それ
ぞれ任務を受けた
寫眞は

一 參内の外山部隊長(於偕行社)



新聞聯合 寫眞ニユース 第三號

◎諮問第一號の審議に入る

一 内審第二回總會

(東京) 十年六月十七日

非常時國策審議機關として設置された内閣審議會の第二回總會は十七日午前十時より首相官邸に於て開會

審議會側より齋藤前首相、山本前内相を始め水野、伊澤、馬場、安達、川崎、望月、青木子、黒田男、秋田、富田、頼母木、池田、各務の各委員

政府側より岡田首相、高橋藏相の審議會正副會長を始め各閣僚及び白根書記官長、吉田調査局長官、金森法制局長官、松井主席調査官、平本書記官

其他關係官一堂に會し、先づ岡田首相審議會會長として開會の挨拶を述べ諮問第一號を言田長官より朗讀提示し更に之に附隨する理由書を朗讀し直ちに審議に入つた

寫眞は 一 岡田會長の挨拶

1914



◎女學生が菅笠

赤だすき姿で田植

(東京) 十年六月十八日

都會の子女は毎日食べてゐる米が如何なる辛苦の結晶であるかを知らぬものが少くないので目黒の日ノ出高女ではやがて一家の主婦となる女學生に米の出来るまでの實習をさせ實つた米を神に捧げて敬神思想をも深めようと十八日午前七時校庭に新設した御神田に田植をした、菅笠赤だすき姿の女學生一都會では一寸珍らしい風景である

寫眞は

女學生の田植

茶



◎「よきこそ」米國夫妻

人形使節出迎への日本夫妻

(東京) 十年六月十八日

日米親善人形使節「米國氏夫妻」はいよいよ十九日午後五時横濱入港の淺間丸で晴れの日本入りをする。當日は關係各方面の歡迎等で相當の殷賑を豫期されるが歡迎使節として銀座松屋では「日本夫妻」(男子五尺五寸紋服女子五尺訪問着)の豪華な人形を製作港外に米國氏夫妻を出迎へてメツセーヂを手交。翌二十日は日本氏夫妻主催の下に松屋で歡迎お茶の會を催し夫妻に和服各一襲づつを贈呈することとなつてゐる

寫眞は

一、歡迎の日本氏夫妻

新



◎ユレネフ大使、高橋藏相會見

(東京) 十年六月十九日

駐日ソ聯大使ユレネフ氏は十九日午後一時半官邸に高橋藏相を訪問要談したがこれは高橋藏相が日ソ兩國間の平和工作を強調してゐる關係上ユレネフ氏は高橋藏相を訪問日ソ不可侵條約問題その他に關して藏相の所信を打診したものととして重視されてゐる

寫眞は

一藏相官邸にて

報
5



◎十八勇士の遺骨東京着

(東京) 十年六月十九日

今回の北支問題の端を發した孫永匪討伐に名譽の戰死を遂げた故歩兵少佐稅所榮夫氏を始め川岸、阿久津、寺倉、桑原、各部隊の十八遺骨は十九日午前五時東京驛着悲しい凱旋をした、驛頭には内山、柴、阿部三大將、大野中將始め在郷軍人、國防婦人會員等約一千名中に稅所少佐未亡人勝子さん、長男一郎さんその他の遺族の淋しい姿が人目を惹いた、ブラット・ホームの本願寺僧侶の讀經遺族の焼香の後東京の九遺骨は夫々自宅へ他の九遺骨は上野又は兩國驛發夫々原隊に向つた

寫眞は

一、東京驛にて

雜
5



◎蔣初代駐日大使信任狀捧呈

(東京) 十年六月二十日

駐日初代の中華民國大使に昇任した蔣作賓氏は二十日午前十時儀服も輝かしく渡邊式部官の迎引により大使館附武官蕭叔宣少將以下九名の館員を従へ宮内省差過しの儀裝馬車で近衛騎兵儀仗の下に麻布飯倉の大使館を出て二重橋正門より参内、同十時半松平式部長官の誘導にて鳳凰閣に進み廣田外相侍立し天皇陛下に謁見仰付けられ恭しく信任狀を捧呈、陛下には之れを御受領の上廣田外相に授けられ優渥なる勅語を賜ひ引續き館員一同にも謁見仰付けられた

寫眞は

- 一、参内の蔣大使
- 二、二重橋参入



新
5



◎親善人形使節歴訪

(東京) 十年六月廿日

滯京第一夜を帝國ホテルの新婚部屋に送つた米國氏夫妻は二十日午前九時ホテル出發皇居遙拜の後明治神宮參拜米國大使館、市長訪問の後各省歴訪、日比谷公會堂に於ける市主催の歓迎會に出席、華族會館の人形愛好婦人會主催歓迎會に臨んだ上東京演劇等忙しい日程を終へてホテルに落付いた

寫眞は

一、夕刻に於て皇宮遙拜
一、公會堂歓迎會



◎お土産たくさん抱へて

人形使節空を名古屋へ

(東京) 十年六月廿一日

廿一日午前八時半、目を醒した米國氏夫妻同宿の富士男さんと櫻子さんを兩側にダグを真中にしてトーカーに納つた後、旅行協會、觀光局を訪れ田局長等にお別れの挨拶をし、そして昨日内田鐵相から載いた繪日傘にステッキ、田局長からのバナマ帽、商工會議所からの鼓と琴、松屋の紋付羽織、さういふやうなお土産を澤山抱えて一路羽田飛行場へ午前十一時半出發の旅客機で名古屋に向ひました

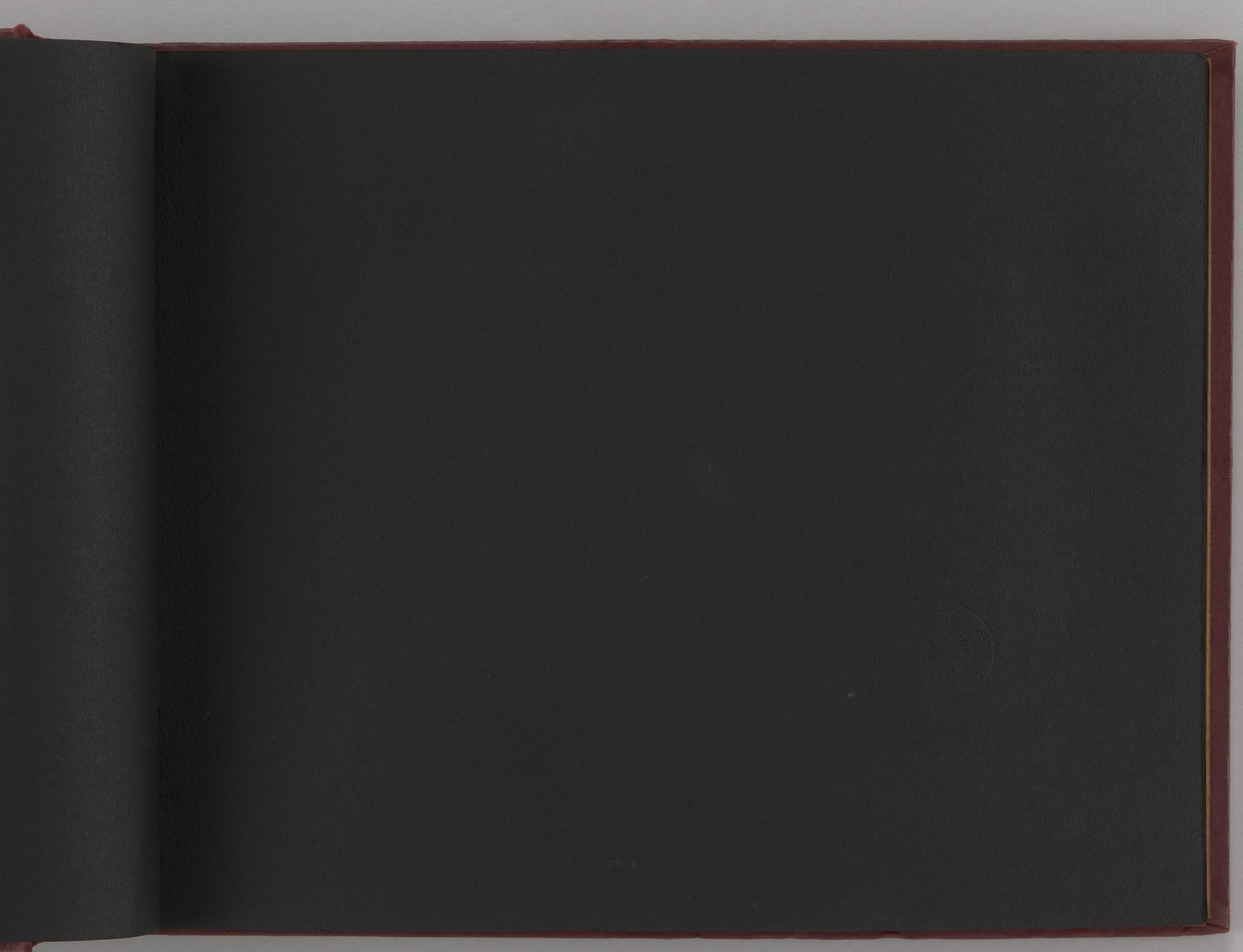
寫眞は

一、旅客機に乗込む夫妻

一、サヨナラ東京

新
5





新
5



◎ 帝人事件第一回公判

(東京) 十年六月廿二日

中島元商相、三土前鐵相、黒田元大藏次官等の連座を見た所謂帝人大疑獄の第一回公判は二十二日午前八時半より東京檢事地方裁陪審第一號大法廷で開かれた

寫眞は

- 一、藤井裁判長、早朝神宮參拜
- 二、詰めかけた傍聴人
- 三、自邸を出る三土前鐵相(後者は各新聞記者)
- 四、裁判所玄関に入る中島元商相
- 五、論告を終へた平田勳檢事

5
5



◎スワ焼夷彈投下

―防空演習を前にけふ豫行―

(東京) 十年六月廿二日

我等の大空を護れと來る二十六日(豫行)並に來月六七日兩日行はれる東京、横濱、川崎三市の防空演習も愈々間近かに迫つたので警視廳消防部では空襲に關する知識函養のため二十二日午前九時から全市三十九消防署長を五階會議室に召集、防空演習並に空襲に際しての焼夷彈及毒瓦斯彈等の投下による防火防毒に關する説明を聽いた後出席者一同午前十一時半より三宅坂衛戍病院跡に赴き同所に建てられた五個の模擬家屋に投下されたもの、假想の下に一軒二軒五軒十軒の各種焼夷彈を同家屋に裝置して之を爆發焼夷せしめ一方消防自動車、ラヂオ車まで豫め出動、模擬家屋が焼夷せらるるや直ちに防護團員等と協力、消火並に延焼防止の演習を行つたが非常な緊張裡に零時半終了した

寫眞は

一、焼夷彈投下演習

5
5



◎古サルマタも感傷も焼く

一 今夜一高最後の寮歌祭！

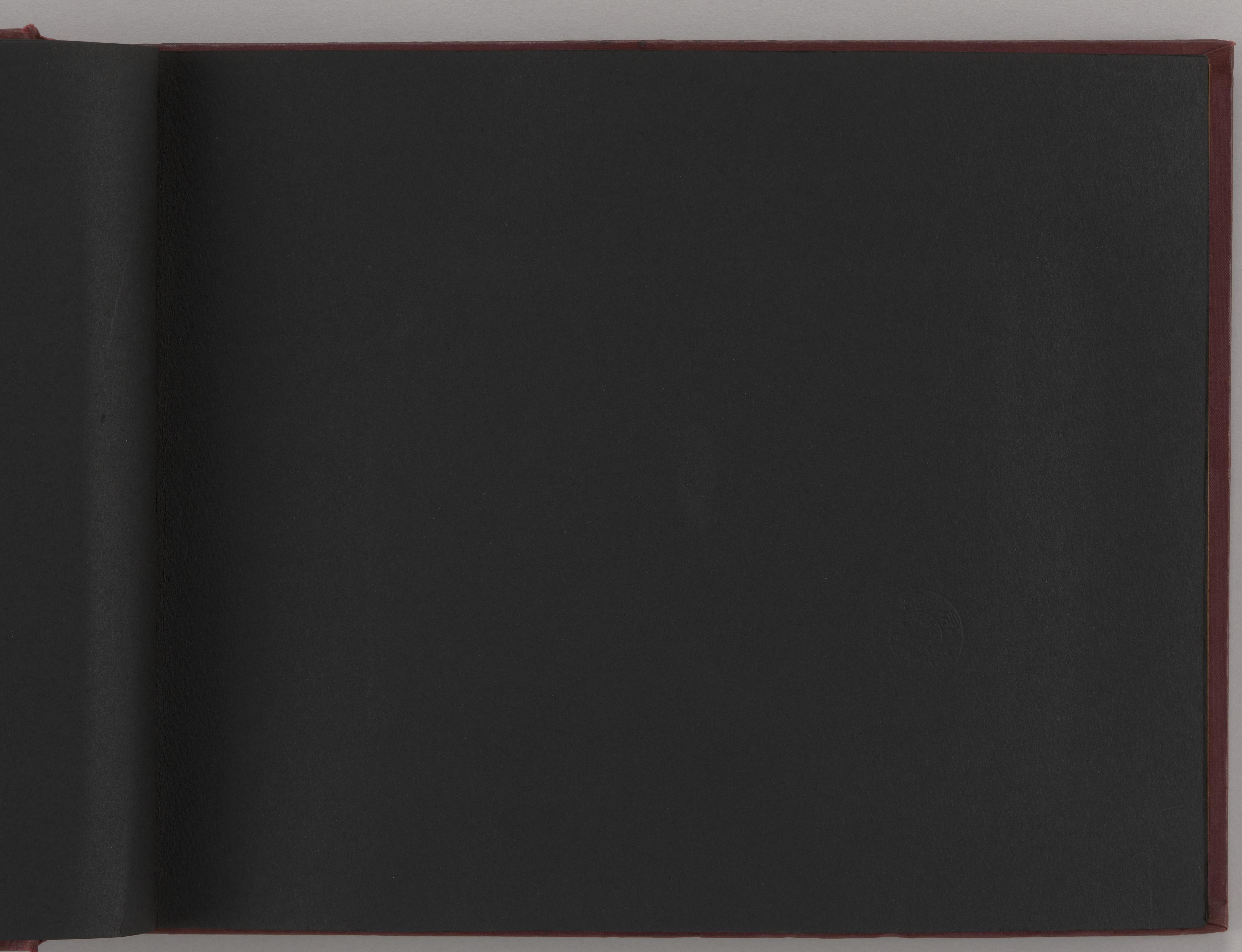
(東京) 十年六月廿三日

一高の駒場移轉は五六年前からの懸案だつたが、いよいよ今秋實現することになつた。「桃色の分館」での授業は廿二日の正午の試験を最後に永久におさらばになつた。寮生活も寮生が休暇でチリチリになるので、やつぱり最後掲示場に「廿三日午後八時寮歌祭、最後だからモリモリ来てくれ」とある。西寮前庭には古材木、俵、ビール箱、古サルマタ、本、ボロ洋服などが御覽の通りの山積、夜の寮歌祭を待機してゐる向院での最後の寮歌をどなる爲めこの焚火をとりまき歌ひ明さうといふのである。寮生は感傷も一緒に焼いてしまふのだと強がつてゐる。

寫眞は 一 焚火の山と掲示板

新 5
5





雜 5
5



◎古サルマタも感傷も焼く

1 今夜一高最後の寮歌祭！

(東京) 十年六月廿三日

一高の駒場移轉は五、六年前からの懸案だつたが、いよいよ今秋實現することになつた。「桃色の分館」での授業は廿二日の正午の試験を最後に永久におさらばになつた。寮生活も寮生が休暇でチリチリになるので、やっぱり最後編示場に「廿三日午後八時寮歌祭、最後だからモリモリ來てくれ」とある。西寮前庭には古材木、俵、ビール箱、古サルマタ、本、ボロ洋服などが御覽の通りの山積、夜の寮歌祭を待機してゐる向校での最後の寮歌をどなる爲めこの焚火をとりまを歌ひ明さうといふのである。寮生は感傷も一緒に焼いてしまふのだと強がつてゐる。

寫眞は 一焚火の山と編示板

雜 52
52



◎高橋藏相豫算編成方針説明

一廿五日の閣議席上で

(東京) 十年六月廿四日 二十五日は定例閣議日に當るが當日は皇太后陛下の御誕辰日に際し全閣僚は同日午前中大宮御所に伺候御機嫌奉伺をなすため閣議を午後に繰下げ午後二時より開催席上高橋藏相から十一年度豫算の編成方針につき一場の説明をなす筈である

寫眞は

一、想を練る高橋藏相